

2016年度「大町幼稚園 学校評価」を終えて

大町幼稚園では、学校教育法に基づいて園則に定めているとおり、昨年度（2016年度）の活動に関して学校評価を実施いたしました。ここにその結果を公表し、ご報告申し上げます。

評価に際しましては、その客観性を高めるために、まず保護者の皆さまを対象にアンケートを行い、それと並行して教員が自己評価・点検をしましたものをそれぞれ集計、分析して「教育方針・教育目標の理解」「キリスト教保育」「少人数保育」「戸外遊び・自然体験の充実」「表現あそび」「安全教育」「食育」「家庭との連携」「子育ての支援」「幼稚園運営」の10項目に分類してまとめ、学校関係者評価委員の方々にそれぞれの項目に関して更に評価をしていただきました。

結果として、保護者の皆様および学校関係者評価委員の皆様には本園の教育方針である「いつくしみの保育」を具現化するための教育活動に関して、自覚している以上の好意的な評価をいただき、当園に対しての皆様のご理解に対して深く感謝するとともに、その評価を大変心強く思っております。

また、同時に、一連の評価の中で私どもが取り組むべき今後の課題も明確になりましたので、それぞれの課題を改善するために検討を重ね、今回の評価に甘んずることなく努力と研鑽を積んで、より良い幼児教育のために一步一步進んでいきたいと考えております。今後も皆様からの更なるご指導とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年3月

信濃キリスト教学園
幼保連携型認定こども園 大町幼稚園
園長 早川 民次

1 教育方針・教育目標の理解

◆2016 年度の取り組み

- ・教育目標に基づき、各年齢の「目指す幼児像」を明らかにし、保育内容を検討する

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.40）

- ・年齢に応じたねらいを定め、一人ひとりに合った方法を探しながら保育をしてきた。
- ・月齢に応じて保育内容を決めて進めていくことができた。
- ・4つの柱「ありがとう」「ごめんね」「いいよ」「どうぞ」が流れてしまうことがあった。
子どもたちと落ち着いた雰囲気ですすことを心がけてきたが、もっとあってもよかったのではないかと感じる。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.88）

- ・縦割り保育がとてもよかった。今後も取り入れてほしい。
- ・リトミックをととても楽しみにしている。
- ・今できることより、もう少し難しいこともどんどん取り入れてほしい。
- ・園長先生とお話する機会をもう少し増やしてほしい。
- ・若い先生方とベテランの先生方一丸となって園全体での保育をお願いしたい。
- ・クラスを越えて先生が声をかけてくれて、皆に見てもらえていることがわかり安心。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.80）

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・保護者会などで具体的に園の方針を伝えていく。
- ・今年度の取り組みを具体的に知らせていく。
- ・園長と保護者との懇談「えんちょうとちょっと」の回数を増やす。

2 キリスト教保育

◆2016年度の取り組み

- ・日々の礼拝やキリスト教の行事等を通して豊かな人格形成を目指す
- ・一人ひとりの幼児の発達・個性を把握し、年齢に応じた願いを持ちながら保育をする

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.50）

- ・給食時にお祈りをすることによって、食べ物や、作って下さる方、与えてくださる神さまに感謝する気持ちが持てた。
- ・礼拝を通して、子どもと一緒に身近なところからも様々な気持ちを話す機会が持てた。
- ・一人ひとりに願いを持ち、その子に合った方法を考えることができた。
- ・周りの先生方の様々な視点から個性を知ることができた。学びを自分のものにしていきたい。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.78）

- ・日頃から、思いやりの心や感謝の気持ちを大切にしてくださっていることに感謝の思いです。
- ・「小さい子には優しくする」等が自然に身につけていて、すごいなあと思いました。
- ・讃美歌も好きで家に帰ってからもうたっています。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.00）

- ・教師のキリスト教理解を深めてほしい。
- ・自主的に教会に来てほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・キリスト教本来の理解ができていない部分も多かったのではと感じる。学びの方法を改めたい。
- ・一つの支援方法だけでなく、複数または、別の支援方法を深めて保育していけたらよかった。
- ・聖書理解のため、聖書研究会の充実を図る。

3 少人数保育

◆2016年度の取り組み

- ・教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする
- ・あたたかい雰囲気の違いづくりを通して、自己を発揮することができるとともに思いやりの心を育てる

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.10）

- ・教師間で気づき合って保育を進めていくことができた。また、準備等も助け合いながら進められたことで、スムーズにすすんだ。
- ・異年齢交流の時間を意識して作ることができた。縦割り保育の時間では、年齢の異なる子どもたちへの保育の進め方など、工夫して教材研究などもできた。
- ・異年齢だからこそ見えてくる、一人ひとりの優しさや、考えを感じるすることができた。
- ・好きな遊びの中でも年長児に対しては、自分がしてもらったことを次は年下の子に伝えていくように声をかけてきた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.85）

- ・子どもたち一人ひとりをとても理解していただいていると感じる。
- ・全ての学年と交流できることが楽しいようで、よく話をしてくれる。
- ・このまま少人数体制が続くことを望みます。
- ・子どもの生きいきとした声をたくさん聞くことができました。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.90）

- ・手と、目の行き届いた教育保育ができていると思う。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・副担任の先生として入って下さる先生が日によって異なり、前日の様子や、意識して声をかけている部分はその都度伝わらず、子どもが混乱してしまう事があった。
- ・支援の方法など、細かい事をさらに詰めて話をする必要があった。
- ・未満児は、時間の都合や日程により、異年齢で関わる時間が少なかったように感じる。

4 戸外遊び・自然体験の充実

◆2016年度の取り組み

- ・ 戸外で友だちと思いきり身体を動かして遊ぶことを通して元気で丈夫な体力作りをする
- ・ 毎日の遊びの記録をとり分析を重ねることで、遊びが楽しくなるように環境や指導の工夫をする

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.10）

- ・ 友だちと考えると遊ぶ経験や、ルールを守りながら、思い切り戸外で遊ぶことが多く、その中から人との関わりも増えたのを感じた。
- ・ 戸外遊びから来る、「やってみたい」と挑戦する意欲が多く見られた。
- ・ 前日の遊びが続くように、記録をつけることで、環境を整えたり、繋げ方を工夫したりすることができた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.69）

- ・ お散歩や、自然体験をもう少し取り入れてもらえたらと思う。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.9）

- ・ 園庭で元気に遊ぶ姿がよくみられるが、散歩など園外に出る機会をもう少し増やして自然に触れ合ってほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・ 一日一回は戸外に出て遊ぶようにしてきたが、行事前等で時間が取れないことがあった。
- ・ 一人ひとりの願いやしたいと思っている遊びを実現できるように、様々な方法を探り、試すことができた。
- ・ 遊びの中で、子どもとの関わりに偏りが出てしまったように感じる。
- ・ 記録を取らずにいてしまったことがあった。日々の準備や、整理などを工夫し、記録を取る時間を設ければよかった。また、書き方や、記載方法に工夫をし、誰が見ても分かるような記録の付け方を工夫すればよかった。

5 表現あそび

◆2016年度の取り組み

- ・歌やリズム表現・製作活動を通して自分らしく伸びのびと表現したり友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする
- ・感じたことや考えたことを表現する豊かな感性を育む

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.70）

- ・思い出会等、子どもから出てくるアイディアに、教師も発見したり、一緒にイメージしたりしながら作り上げることができた。
- ・リトミックが入ったことで、好きな音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを感じた。また、教師も、どのようにリズム遊びを子どもたちに下ろしていくかを知ることができた。
- ・クラスの中で作品を紹介したり、よい姿を認めたりしてきたことで、少しずつ、自分の表現方法に自信を持つ姿が増えてきた。
- ・わらべうた遊びを取り入れたことで、リズム感や友だちと合わせる喜びを味わうことができた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.85）

- ・リトミックをととても楽しみにしている。
- ・熱心なご指導ありがとうございます。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.70）

- ・リトミックを取り入れたことで表現遊びをする機会が増えたことはよかった。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・自分自身の経験値の低さから、自分で“豊かな感性”というところに自信を持ってない部分もある。
- ・全体で、朝の時間に体を動かす時間をとっても良かったのではと感じる。（週に1回でも）

6 安全教育

◆2016年度の取り組み

- ・避難訓練、交通安全指導、健康安全指導、生活安全指導を通して安全に対する意識を高める

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.20）

- ・実際の震災の出来事や、被災者のことを思う時間を作ることで、災害への意識が変わった。
- ・月1回の避難訓練で、厳しい態度で臨むことができたとともに、こういう場合はどうする？など、新たな課題も見つけることができた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.92）

- ・避難訓練など、すごく良いことだと思います。
- ・先生たちの指示に真剣な表情で取り組んでいる姿が素晴らしい。
- ・園庭開放時に保護者のポケットから携帯電話が落ち、園児に当たるといったことがあった。取り扱いの注意を喚起してほしい。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4.00）

- ・園児の安心・安全のための取り組みがよくできている。これからも真剣に取り組んでほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・道を歩く経験が少なく、交通ルールや、車両の恐さを認識出来ない子が多い。
家庭でも経験する機会を作ってもらえるように声をかけていきたい。
- ・教師のみの避難訓練を計画する。
- ・AEDの使用方法の研修を行なう。

7 食育

◆2016年度の取り組み

- ・栄養のバランスやカロリーを計算した完全給食を実施することにより何でも喜んで食べる子どもを育てる
- ・感謝する心・畑での栽培・収穫・クッキング・食事のマナーなど多くのことを学びながら、よく遊び、よく食べ、よく眠る子どもを育てる

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.70）

- ・バランスや、調味料などに細かく配慮した給食のため、普段家庭では食べない食物も喜んで食べる姿が見られた。
- ・給食の先生とも連携して、食事の方法やアレルギーなどに対応して行なうことで、より安全かつ、食事を楽しんでいるのが伝わってきた。
- ・野菜が苦手な子や、食わず嫌いの子が多かったが、自分たちで野菜を育てて調理をした経験から、「食べられた」「食べてみよう」の気持ちにつながった。
- ・自分たちで育てた野菜を使って、カレーのクッキングを行った。包丁や、ピーラーなどにも触れ、使い方を知ったり、みんなで調理する楽しさを経験したりすることができてよかった。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.94）

- ・アレルギーにも細かく対応してくださり感謝しています。
- ・給食が大好きです。苦手なものも克服できました。
- ・カレーのクッキング、とても良い経験となりました。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4.0）

- ・給食に対する細かい配慮ができています。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・複数のクラスできゅうりを栽培してしまい、多収は良かったが食べ方の選択肢がなかった。クラス間で打ち合わせをすべきだった。
- ・年齢に合った栽培の研究を進めていく。

8 家庭との連携

◆2016年度の取り組み

- ・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだより等で知らせ理解を得る

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.40）

- ・クラスでの活動内容が伝わり、家庭でも楽しんでくれることが増えてよかった。
- ・顔を見て話すことや、言葉一つひとつ丁寧に会話をすることで、日頃の悩みや様子などを話してくれることが増えた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.85）

- ・クラス便りでは、園で何に夢中になっているのか、何が達成できたのか教えていただけありがたい。
- ・ホームページ、楽しみにしています。
- ・保育参観の機会を増やしてほしい。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.80）

- ・保護者との連携はよくなっているが、バス登園のこどもの保護者や、預かりの子どもの保護者との会話が少ないように思う。担任は積極的に話しかけるよう心掛けたい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・教師なりに日々の様子を伝えてきたが、保護者の「知りたい」に合った内容だったか…と反省がある。
- ・保護者の方々からも学ぶという姿勢も大切だと感じた。

9 子育ての支援

◆2016年度の取り組み

- ・未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする

◆評価と分析（保護者のアンケートを含む）

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.40）

- ・幼稚園のころに比べると、こども園の方が預けやすくなったと思う。
- ・未就園児と触れあう機会が多かったのはよかった。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.85）

- ・急な預かり保育への対応、助かっています。
- ・夏の預かり保育、助かります。
- ・急な用事の際、祖父母が遠方にいて預けるところがなく大変困った。
- ・1号認定の子も土曜日の預かりをしてほしい。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.80）

- ・認定こども園になり2年目の年度、預かりの体制も整ってきた。
- ・子育て支援に対しての考え方が全ての教職員に浸透していないので、共通理解をしっかりとしてほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・一時預かりは、大きな行事の前は入れない方が、
在園児の子たちにとっては、よいと感じた。
- ・預かり保育の体制を考え直した方がよいと思う。
連絡等の不備を減らすため。

10 幼稚園運営

◆2016年度の取り組み

- ・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 3.00)

- ・預かり保育の担当の先生がいることで、担任の負担は減り、その分教材研究などに力を入れることができたのは、とてもありがたかった。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.40)

- ・認定こども園となり、行政との連携もしっかりできているようです。それにより、教職員の処遇改善や地域の子ども子育て支援が手厚く行えるようになった。今後も今以上の教職員のスキルアップを図り、地域の子どもたちの成長に貢献してほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・清掃活動をもっとしっかり行い、衛生面に配慮していきたい。
- ・行事前等、連絡ノートへの記入や、環境整備が劣ってしまうことがあったので来年度は反省を活かしていきたい。